

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	今後も広報誌を見ながら、地域行事に参加したり、保育園児や小学生、中学生との交流を増やしていきたい	道路愛護や清掃活動以外での地域社会との交流ができる。小中学生、保育園児との交流もできるよう、受け入れ体制を整える	地域行事や小中学校の職場体験など活動状況の情報収集に努め、コロナウイルスの流行状況に応じて参加や受け入れの検討を行っていく。運営推進会議などを通じて地域の方々との交流を積極的に行う。	24 ヶ月
2	28	①今後もADLの「起居動作」「排泄」等をさらに細分化すると共に「できそうな能力」もチェックし、長期・短期目標へ繋げていく ②アセスメントの右欄に「ご本人の要望」を追記する事で介護計画のニーズ欄に繋げる事ができ、専門用語ではなくご本人やご家族にわかりやすい表現を心掛けながら、家族との更なる話し合いを行っていく	アセスメントは現状把握するためにADLの項目ごとに細分化し課題を抽出し目標を立て達成に繋げていく また、ご本人様やご家族様がわかりやすい表現を用いて話し合いをする	ご本人様の要望を追記したりADLの起居動作等をさらに細分化すると共に職員の情報を収集し出来そうな能力も把握してアセスメントを作成し長期目標「生活目標」・短期目標「活動目標」に繋げていく また、ご本人様やご家族様にわかりやすい表現を心がけ話し合いをしていく	24 ヶ月
3	37	コロナ禍で消防署員の方に直接指導して頂く機会が減っている。2023年度は感染の流行状況に応じて派遣要請を行うと共に、地域の方や夜勤専従者の方にも参加して頂くよう働きかける	緊急時や災害時に各職員が適切な対応ができる。	コロナウイルスの流行状況に応じて開催時期を決定し、消防署員の方に指導して頂く機会を設ける。地域の方や夜勤専従職員にも参加して頂けるよう勤務表の調整や推進会議との同時開催も実施していく。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月